

## 🌀 一学期が終わって (学年主任 小野里)

7月9日、「薬物乱用防止教室」があり、軽い気持ち・安易な判断が取り返しのできない未来をもたらすかもしれない怖さを知ることができました。途中で、友人に勧められた時の断りづらさ（そして、それでも毅然とした態度を取ることの重要性）にも話が及びました。これは、クスリに限らず、非常に難しい問題のひとつかもしれません。

全体としては概ね順調に推移した一学期でした。とはいえ、交通事故、持ち物の取り違えや紛失、他校生も絡むトラブルなどもありました。その多くは単純な勘違いを含む被害の状況でしたが、「より慎重な行動」を心がけていれば、未然に防げていたかもしれないケースもありました。

安全対策の要は、総じて＜自分を大切にすること＞に尽きます。

\*

保護者会資料に掲載した「高校における『世話』の距離感」について詳しく説明することができなかったので少し補足です。

<子供>

<大人>

言われた通りにやる  
やり直せる  
許される

自己責任  
自分で情報を集め  
自分で動く

小学校 → 中学校 → 高校 → (大学→社会)

中学校では、中学生相応の手厚い指示・指導をしてきていたでしょう。それと比べると、高校の指示・案内は「不親切」と感じられるかもしれません。

けれども高校は、「大人になる前」に「大人としての振る舞い」を練習できる最後のステージです。(幼なじみの集団ではない) 大きな人間集団に同調しつつ、各人の将来への歩みはいよいよ異なる道筋となる(その第一歩が学科・科目選択)。自分の道は自分で切り拓かねばならない。努力の方向性も、もう、「あの子と同じ」ではダメなのです。

そのため高校では、個々に対してあらかじめ「与える」指導から、本人の活動を「見る」「待つ」指導へ、よりシフトします。高校は、小学校入学から始まった12年間の学校生活において、「学校離れ」を練習するステージであるとも言えます。➤

➤ 学校が過度に先回りして正解へ誘う保護体制を整え過ぎると、失敗体験も奪ってしまい＜自己責任＞の練習ができません。(高校を出た先には、もう「社会」が待っているのに。)

自分でアンテナを伸ばし、自分で考え自分で動き、失敗したら自己責任を引き受ける(でもまだ練習なのだから、やり直しがきく)。そして「ここでやらかすと取り返しがつかなくなる」前に教員・学校(家庭も、でしょうか)がすみやかに動く……高校生というステージに似つかわしいのはそんな距離感感なのではないか、と個人的には思っています。そして、この距離感を実現するために欠かせないのは、「必要なことをやる生徒」と、「(放置ではなく)見守る大人」です。

## 🍷 夏期休業中の予定

7/22(月)～26(金) 夏期補習(前期)

7/31(水)～8/2(金) G ワークチャレンジ期間

8/10(土)～15(木) 校舎完全閉鎖

事務室も閉鎖となります。8/13～15の連絡・報告は学校携帯番号へ。

8/19(月) 夏期補習(後期)開始

8/20(火)・21(水) 中学生対象学校説明会

8/23(金) 夏期補習(後期)終了

8/24(土) 全統模試(希望者)

8/26(月) 始業式・服装頭髪指導

8/27(火) 校内学力テスト

せっかくの夏休み。この期間を活用して、生徒の皆さんは、以下のことをやり遂げましょう。

☆ 授業の進みが止まります。一学期に遅れ気味だった部分を復習して追い付くチャンス。そのためにも、課題を計画的にこなしましょう。

☆ 大学・専門学校等の見学、オープンキャンパス参加などに、一年次から積極的に取り組みましょう。進路選択の貴重な資料になります。

☆ 身体を休めましょう。検診等で検査・治療を勧められた事柄について、尻込みしないで治しましょう。

☆ その他、「2019年夏、私はこれをやった！」と胸を張って言える『何か』をつくりましょう。